

【取組による目標指標の設定】

計画の達成状況をフォローアップするために、下表の通り目標指標を定めます。目標年は、計画期間の最終年である令和12（2030）年度としますが、計画の見直しの段階で指標や数値の見直しを検討します。

【目標指標】

| | 指標名 | 基準値 (年度) | 目標値(仮) (令和12年度) |
|-----|--|-----------------------------|--------------------|
| はしる | 自転車ネットワーク 路線の整備延長 | 14.9km (令和2年度) | |
| | 自転車での走りやすさが 「走りやすい」と感じる人 (自転車利用実態調査より) | 市民：14% 高校生：27% (令和元年) | |
| とめる | サイクル&バスライド 駐輪場の箇所数 | 9箇所(63台) (令和2年度) | |
| | 駐輪場のマナーが 悪いと思う人 (自転車利用実態調査より) | 市民：33% 高校生：31% (令和元年) | |
| いかす | アヴィレの 延べ利用回数 | 74,422回 (令和元年度) | |
| | 自転車の利用頻度 〔月に数回以上利用〕 (自転車利用実態調査より) | 市民：34% 高校生：69% (令和元年) | |
| まもる | 自転車事故件数 | 140件 (令和元年) | |
| | 自転車損害賠償保険等 への加入率 (自転車利用実態調査より) | 市民：29% 高校生：48% (令和元年) | |

【計画の期間】

この計画は令和3（2021）年度を初年度として、令和12（2030）年度までの10年間を計画期間とします。なお、令和8（2026）年度までの6年間を前期とし、令和9（2027）年度からの第3次富山市総合計画などを踏まえ、必要に応じて見直しを行います。



【計画の背景と基本目標】

- ◇本市では、平成23（2011）年3月に「富山市自転車利用環境整備計画」を策定し、「はしる」「とめる」「いかす」「まもる」の4つの基本方針に基づき、自転車利用環境整備を推進してきました。前計画の取組は、一部課題は残りますが、一定の成果を上げており、国の自転車活用推進法が平成29（2017）年に施行された社会的な背景も踏まえ、計画を継続的に、また、より高めて行く必要があります。
- ◇本計画では、以上の背景に加え、富山市SDGs未来都市計画の目指す将来像「コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現」を踏まえ、基本目標を『SUSTAINABLE CITY TOYAMA by BICYCLE ～自転車活用による持続可能なまちとやま～』とし、安全で快適に自転車を利用できる社会を実現し、自転車利用者の利便性を向上させるとともに、自転車の利用が市民一人一人の生活の質の向上につながり、市民にとって自転車が魅力的なものとなることを目指します。

【基本方針】

◇本計画は、現計画の継続性を重視して基本方針として4本柱「はしる」「とめる」「いかす」「まもる」を踏襲して掲げ、「つづける＝継続」「たかめる＝発展」を基本方針に加え施策を推進します。

【4本柱の基本方針とその施策項目】

【基本方針の実現による基本目標の推進イメージ】

「はしる」 ～自転車走行空間整備～

- 1) 自転車ネットワークのエリアを拡大し、継続的に自転車走行空間を整備
- 2) 車道における安全で快適な自転車走行空間の整備推進
- 3) 自転車事故発生箇所等における交通安全対策の実施

「とめる」 ～駐輪環境整備～

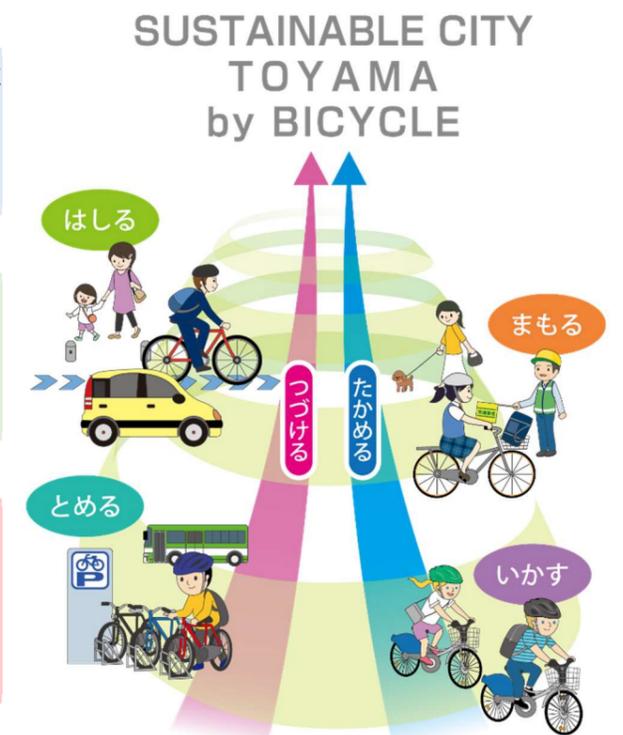
- 1) サイクル&ライド（バス・鉄道）駐輪場の充実
- 2) 長期駐輪や放置自転車対策の強化
- 3) 民間・行政による多様な駐輪ニーズに対応した駐輪場の整備
- 4) IoTの活用

「いかす」 ～自転車の利用促進と健康増進・観光振興～

- 1) 自転車を活かしたライフスタイルの推進
- 2) クルマから自転車への転換による健康増進・環境負荷の低減
- 3) 観光分野での国・県との連携
- 4) 余暇での活用
- 5) その他、様々な場面での自転車の活用

「まもる」 ～ルール遵守・マナー向上～

- 1) ライフステージに応じた効果的な交通安全教育の実施
- 2) 自転車ルール・マナーに関する情報発信の推進
- 3) 自転車損害賠償保険加入の促進等に向けた啓発



4本柱の取組を「つづける」、もしくは、「たかめる」ことにより、自転車利用環境向上の好循環を生み出し、『SUSTAINABLE CITY TOYAMA by BICYCLE』の実現を目指します。

「はしる」 ～自転車走行空間整備～

前計画で概成した自転車ネットワーク路線を拡大し、安全で快適な自転車走行空間の整備を進めることで、市民が走りやすいと実感できるまちを目指します。

1) 自転車ネットワークのエリア拡大

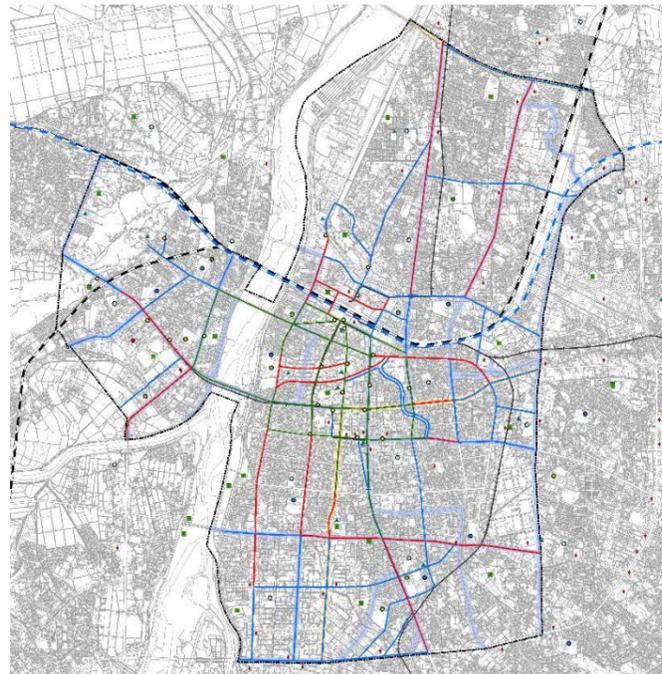
- ①広域的な自転車ネットワーク路線の整備
- ②郊外における整備方針の検討
- ③自転車走行空間の整備効果の検証

2) 安全で快適な自転車走行空間の整備推進

- 様々な形態による整備の推進

3) 自転車事故発生箇所等における交通安全対策の実施

- 危険箇所等の交通安全対策



【富山市自転車ネットワーク路線図】

「とめる」 ～駐輪環境整備～

公共交通と連結する駐輪場整備を推進しつつ、長期駐輪や放置自転車対策、民間と行政の連携により、駐輪場の利便性を高めます。

1) サイクル&ライド駐輪場の充実

- ①富山駅周辺駐輪場の駅高架化に伴う整備
- ②あいの風とやま鉄道の新駅設置や改札口の増設に伴う需要に応じた駐輪場整備
- ③富山地方鉄道電鉄富山駅周辺高架化に伴う駐輪場の整備
- ④サイクル&バスライド駐輪場の整備
- ⑤駐輪場のバリアフリー化



【東富山駅東口の整備イメージ】

2) 長期駐輪や放置自転車対策の強化

- ①放置自転車の撤去と再発防止
- ②放置自転車の適切な保管・リサイクル



【サイクル&バスライド駐輪場の専用案内サイン】

3) 民間・行政による多様な駐輪ニーズに対応した駐輪場の整備

- ①新設商業施設等の附置駐輪場整備の指導
- ②鉄道事業者と連携した駐輪場管理体制の強化

4) I o T の活用

- 混雑状況が分かるような駐輪場のI o T化の検討

「いかす」 ～自転車の利用促進と健康増進・観光振興～

健康、観光、防災などの多様な視点で自転車利用を促進し、多くの市民が自転車を楽しく使えるよう、情報発信や様々な取組を行います。

1) 自転車を活かしたライフスタイルの推進

- ①健康セミナー・イベント等の開催
- ②自転車利用のイメージ向上に寄与する情報発信

2) クルマから自転車への転換による健康増進・環境負荷の低減

- ①サイクル&バスライド駐輪場の活用・周知/②自転車通勤の促進
- ③シェアサイクルの運営、利用促進策の展開/④歩くライフスタイルとの連携

3) 観光分野での国・県との連携

- 県広域のサイクリングコースの利用促進への協力

5) その他、様々な場面での自転車の活用

- ①ホームページ等の整備
- ②災害時の活用
- ③高齢者による安全利用

4) 余暇での活用

- ①サイクルスポーツを楽しむ施設の整備・管理
- ②レンタサイクルの運営、タンデム自転車貸出
- ③サイクリートレインの普及
- ④サイクルイベントの開催・協力
- ⑤サイクリングマップ作成の検討
- ⑥市民・事業者による自転車活用の推進



【グランfond富山2019】

「まもる」 ～ルール遵守・マナー向上～

子どもから高齢者、外国人までの多くの自転車利用者に、安全な自転車利用に必要なルール・マナーを周知できるよう、交通安全教育等を実施します。

1) ライフステージに応じた効果的な交通安全教育の実施

- ①ライフステージに応じた交通安全教育
- ②小学生・中学生への自転車マナーの周知、スケアードストレート等の交通安全教育
- ③児童やサイクリストを対象とした交通安全教室
- ④富山県交通公園等を活用した交通安全教育



【スケアードストレート】

2) 自転車ルール・マナーに関する情報発信の推進

- ①自転車利用者への交通や駐輪マナー・点検実施の啓発
- ②交通安全対策協議会との連携
- ③外国人へのルール遵守・マナー向上の啓発



【外国人を対象とした交通安全教室】

3) 自転車損害賠償保険加入の促進等に向けた啓発

- ヘルメット着用の有効性や自転車損害賠償保険加入の必要性の理解を高める周知